

八潮市都市計画マスタープラン

【オープンハウス結果報告書】

令和4年3月

目次

1. 調査概要

- (1) 開催目的 1
- (2) 開催時期・時間..... 1
- (3) 開催場所 1
- (4) 開催方法 1
- (5) 周知方法 1

2. 集計結果

- (1) 回答者数等について 1
- (2) アンケート結果について 3

3. 改訂計画への反映に向けて5

【参考1】 自由意見6

【参考2】 アンケート結果の写真8

【参考3】 オープンハウスパネル9

1. 調査概要

(1) 開催目的

都市計画マスタープランの改定に向けて、今後の目標設定や施策等の検討に反映できるよう、都市づくりに関するパネル展示を通して都市計画マスタープランの周知を図るとともに、市民の意向を把握することを目的としてオープンハウスを実施した。

(2) 開催時期・時間

・令和4年1月11日(火)～22(土)までの計9日間、午前11時から午後3時まで

(3) 開催場所

・多くの人の往来が期待できる八潮駅や商業施設及び八潮市役所の3か所で開催した。

①八潮市役所(1階ロビー)	1月11日(火)～14日(金)(4日間)
②八潮駅改札前	1月15日(土)、18日(火)(2日間)
③フレスポ八潮	1月20日(木)～22日(土)(3日間)

(4) 開催方法

・パネル展示を行い、適宜、質問に対する説明等を行う。(オープンハウス形式)

(5) 周知方法

・市ホームページや広報等にて開催内容、日時、場所等を掲示して市民に周知した。

2. 集計結果

(1) 回答者数等について

- ◆ アンケート回答者数が358人(内訳:市内291人、市外67人)で、回答者数全体の8割以上が市民となっている。
- ◆ 居住地ごとの年齢別回答者数をみると、市内の方では60-79歳が92人(31.6%)と最も多く、市外の方では40-59歳が25人(37.3%)と最も多い結果となった。

【アンケート回答者数等 一覧】

日付	開催場所	アンケート回答者数(人)		
		市内	市外	合計
1/11(火)	八潮市役所 (1階ロビー)	8	0	8
1/12(水)		12	4	16
1/13(木)		12	5	17
1/14(金)		25	22	47
1/15(土)	八潮駅改札前	63	8	71
1/18(火)		21	7	28
1/20(木)	フレスポ八潮	25	3	28
1/21(金)		45	9	54
1/22(土)		80	9	89
合計		291	67	358
1日あたり		32.3	7.4	39.8

【居住地・年齢別回答者数 一覧】

	0-19 歳	20-39 歳	40-59 歳	60-79 歳	80 歳以上	計
市内	30	82	65	92	22	291
	10.3%	28.2%	22.3%	31.6%	7.6%	100.0%
市外	2	21	25	16	3	67
	3.0%	31.3%	37.3%	23.9%	4.5%	100.0%
合計	32	103	90	108	25	358
	8.9%	28.8%	25.1%	30.2%	7.0%	100.0%

【アンケート項目：20年後の八潮市は、どのような街になってほしいと思いますか？】

項目	例示内容
住みやすいまち	商業・医療・福祉・子育て施設などの立地誘導 交通便利地域での工業団地の誘導 土地区画整理事業による住宅地の形成 等
良好な住まいづくり	住工混在エリアにおける居住・操業環境の保護 空き家の発生予防や利活用 住宅のバリアフリー化、不燃化、耐震化の推進 等
移動がしやすいまち	公共交通の利便性・快適性の向上 道路や歩道・自転車通行空間の整備 交通安全対策の充実 等
水と緑が共生・調和したまち	農地の保全・活用 公園の整備や維持管理の推進 河川や用水などの水辺の親水化 等
安全・安心なまち	堤防の強化や調整池の整備による治水対策 避難場所・避難路の整備 防災拠点となる公園の整備 等
景観に優れたまち	農地や河川による自然を中心とした景観づくり 地域の特性に応じた景観づくり 道路空間の屋外広告物や電柱・電線などのルール化 等
環境に優しいまち	高断熱化や省エネ設備の普及など環境配慮に優れた住まいづくり 再生可能エネルギーの利活用の促進 河川の水質汚濁防止のための公共下水道の早期整備 等

(2) アンケート結果について

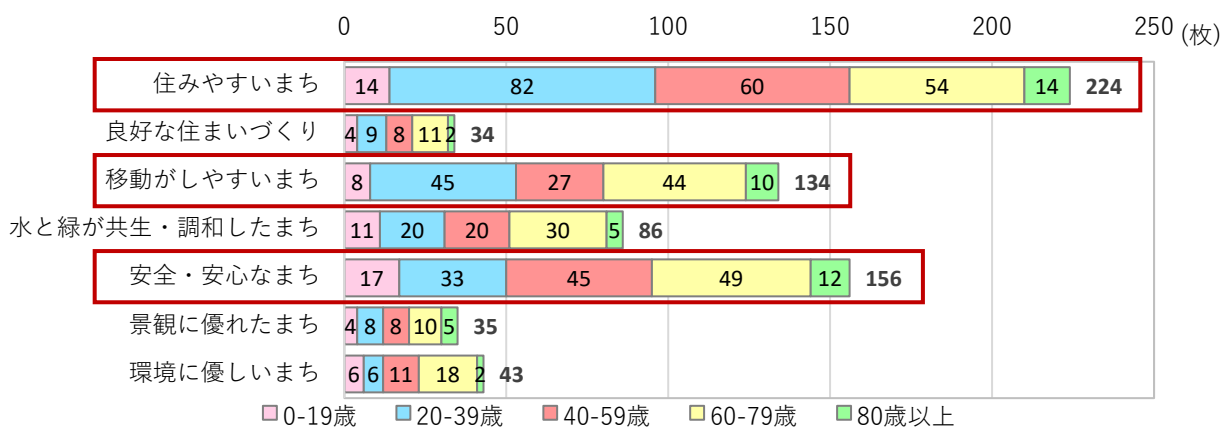
アンケート項目は、20年後の八潮市が、どのような街になってほしいかを伺うものとし、「都市づくりの基本方針」を基に7項目を設定した。

- ◆ アンケートの上位3項目は、「住みやすいまち」、「移動がしやすいまち」、「安全・安心なまち」となっており、年代別・居住地別においても、上位に「住みやすいまち」、「移動がしやすいまち」、「安全・安心なまち」が入っており、市の20年後に期待する将来像として求めるものは同様の結果が見られる。

※アンケート回答数は1名につき、2項目とする。

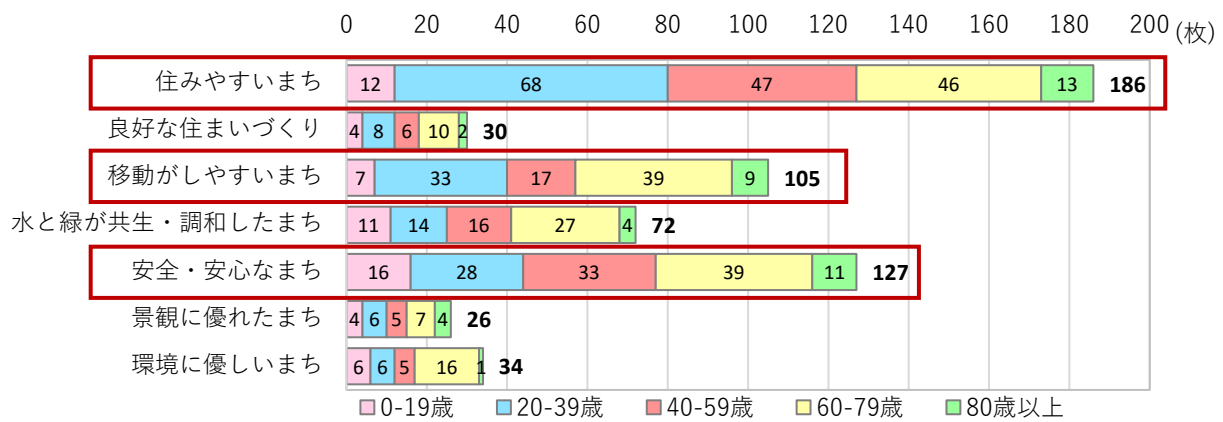
【全体：年代別回答数 (N=712)】

項目	0-19歳	20-39歳	40-59歳	60-79歳	80歳以上	合計	回答率
住みやすいまち	14	82	60	54	14	224	31.5%
良好な住まいづくり	4	9	8	11	2	34	4.8%
移動がしやすいまち	8	45	27	44	10	134	18.8%
水と緑が共生・調和したまち	11	20	20	30	5	86	12.1%
安全・安心なまち	17	33	45	49	12	156	21.9%
景観に優れたまち	4	8	8	10	5	35	4.9%
環境に優しいまち	6	6	11	18	2	43	6.0%
合計	64	203	179	216	50	712	100.0%



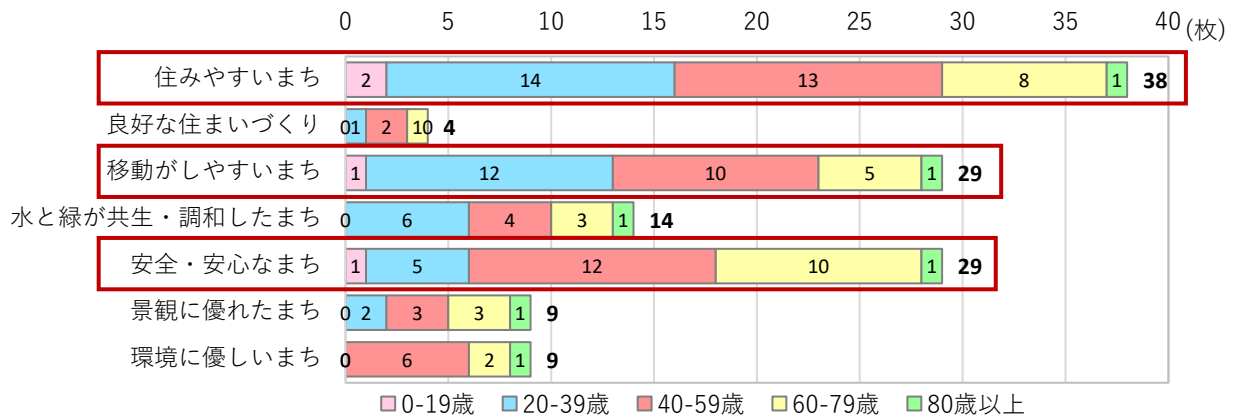
【市内：年代別回答数 (N=580)】

項目	0-19歳	20-39歳	40-59歳	60-79歳	80歳以上	合計	回答率
住みやすいまち	12	68	47	46	13	186	32.1%
良好な住まいづくり	4	8	6	10	2	30	5.2%
移動がしやすいまち	7	33	17	39	9	105	18.1%
水と緑が共生・ 調和したまち	11	14	16	27	4	72	12.4%
安全・安心なまち	16	28	33	39	11	127	21.9%
景観に優れたまち	4	6	5	7	4	26	4.5%
環境に優しいまち	6	6	5	16	1	34	5.9%
合計	60	163	129	184	44	580	100.0%



【市外：年代別回答数 (N=132)】

項目	0-19歳	20-39歳	40-59歳	60-79歳	80歳以上	合計	回答率
住みやすいまち	2	14	13	8	1	38	28.8%
良好な住まいづくり	0	1	2	1	0	4	3.0%
移動がしやすいまち	1	12	10	5	1	29	22.0%
水と緑が共生・ 調和したまち	0	6	4	3	1	14	10.6%
安全・安心なまち	1	5	12	10	1	29	22.0%
景観に優れたまち	0	2	3	3	1	9	6.8%
環境に優しいまち	0	0	6	2	1	9	6.8%
合計	4	40	50	32	6	132	100.0%



3. 改訂計画への反映に向けて

- ◆ 今回の結果では、年代・居住地に関わらず「住みやすいまち」「移動がしやすいまち」「安全・安心なまち」が上位に挙がっており、多くの方の期待が高い項目であることが把握できた。
- ◆ 分野別方針の施策については、特にアンケートで上位に挙げられた項目について、以下のとおり市民意向を反映する形で検討を進める。

【分野別方針への反映箇所】

項目	市民意向	反映箇所	追加した内容
住みやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいを創出するような商業施設の充実 ・医療・福祉・子育て施設などの誘導 	◆土地利用の方針	
		1.ゾーンの方針 (1)市街地ゾーン	・生活利便施設の立地誘導
		2.計画的な核の形成 (1)都市核の形成	・市民活動や日常生活の利便性を高める都市機能の集約化
移動がしやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性・快適性の向上 ・歩道、自転車通行空間の整備 	◆道路・交通システムの整備方針	
		2.計画的な都市機能の配置・形成	・鉄道、バスの利便性の向上、新たな技術導入による移動手段の確保
		3.安全で快適な回遊性の高い空間の形成	・歩行空間、自転車通行空間の整備など良好な歩行者・自転車ネットワークの形成
		4.交通結節点の機能強化	・鉄道やバス路線をはじめとする公共交通結節点機能の強化
安全・安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・頻発化、激甚化する台風や大雨に伴う治水対策 	◆安全・安心のまちづくりの方針	
		1.防災・減災のまちづくり (1)水害に強いまちづくりの推進 2)貯留・浸透機能の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・調整池の整備 ・雨水貯留浸透施設の設置を促進 ・雨水の保水・遊水機能を有する農地の維持・保全
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の防災拠点の整備や充実 	2.災害に備えた環境整備 (1)防災拠点の整備・充実 1)防災公園等の整備	・災害時における地域防災拠点としての防災公園の整備や機能の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全の充実 ・防犯力の向上 	3.交通安全の充実と防犯のまちづくり (1)交通安全の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全施設の整備 ・自動車速度の抑制促進 ・交通マナーの向上
		3.交通安全の充実と防犯のまちづくり (2)犯罪のない都市の形成 1)防犯力のある環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しの確保された空間整備 ・街路灯・防犯灯等の整備を促進 ・防犯カメラの設置の推進

【参考1】自由意見

◆ 自由意見では、「住みやすいまち」や「移動がしやすいまち」、「安全・安心なまち」に関する内容が多く挙げられている。

◇ 「住みやすいまち」に関する主な意見

⇒生活に便利で住みやすいという評価の声や買い物環境の更なる向上

◇ 「移動がしやすいまち」に関する主な意見

⇒バス路線の増便など公共交通の利便性向上や道路・歩道等の整備

◇ 「安全・安心なまち」に関する主な意見

⇒大雨等による洪水への不安・心配

【主な自由意見一覧】

〈住みやすいまち関連 計10件〉

●住み始めて40年だが、とても住みやすく、どこに行くにも便利。
●自然が多く、子育てしやすい。子どもも住みやすいと思う。
●昔は何もなかったが、駅ができてだんだん住みやすくなってきた。
●三郷に住んでいるが、三郷中央駅よりも八潮駅の方が発展していて良い。フラワーパークも良い。
●古くから住んでいるが、鉄道やお店が充実し、生活に便利な街になっている。
●工場があるのはやむを得ないと思う。
●駅周辺が発展するのはいいが、市の端の地域は整備が遅れている。
●買い物するのに駅前だけではなく、他の所も便利になると良い。
●スーパーがなくて買い物が不便。

〈移動がしやすいまち関連 計22件〉

●交通の便が良いベッドタウンとなっている。
●鉄道が開通したことで、以前よりずいぶん便利になった。
●歩道が狭くて、歩行者と自転車のすれ違いが怖い。(自転車通行空間の整備)
●歩道がないのでとても危険である。歩道があったとしてもベビーカー1台がやっと通れる幅なので、すれ違うことができない。
●歩道がない所や狭い所が多く、駅まで歩く途中の道は自転車が後ろから猛スピードで走ってくるため危険で怖い。
●目的地まで安全な道路で行こうとすると最短距離の2～3倍の時間がかかる。
●車道が狭い。
●自転車は大型車の通行が多いので危ない。
●橋付近が渋滞するため、渋滞緩和してほしい。
●道路や歩道の舗装がガタガタなため、整備が必要。
●右左折で交差点が渋滞するので改善してほしい。
●バスの便数が1時間に1本しかなくて少ない。市役所まで遠回りしている。

●路線バスやコミュニティバスの便数が少なく、移動に不便。越谷レイクタウンや三郷ららぽーとへの直通便があると便利。
●路線バスの本数について、大瀬から駅まで1時間に2本は少ない。
●バスでの移動が主としており、バスに不便を感じるため、路線バスやコミュニティバスの便数・経路の見直しをしてほしい。
●三郷行きのバスを増やしてほしい。
●車の運転ができないため、バスの便数を増やしてほしい。
●地下鉄8号線の実現に期待している。八條地域に駅を整備してほしい。

〈水と緑が共生・調和したまち関連 計5件〉

●中川の整備をしてほしい。
●50年八潮に住んでいるが、公園をたくさん作ってほしいと思う。
●小さい子供がいるため、公園がたくさんあると良い。
●公園が充実していると小さい子供がいる家庭には助かる。
●中川フラワーパークがあるがイマイチで、友人を招けるような魅力がない。

〈安全・安心なまち関連 計7件〉

●川の堤防を強化してほしい。
●災害がなくて良い町だ。
●洪水が起きた時にどこに水が行くか分かるように高低差のある地図が欲しい。
●昔に比べ、排水はよくなったが、まだまだ悪い。大雨の際に心配である。
●地域の防災担当をしているが、避難先となる学校の災害避難体制の強化が必要。
●中川の近くに住んでいるため、大雨の時は洪水が心配。

〈景観に優れたまち関連 計3件〉

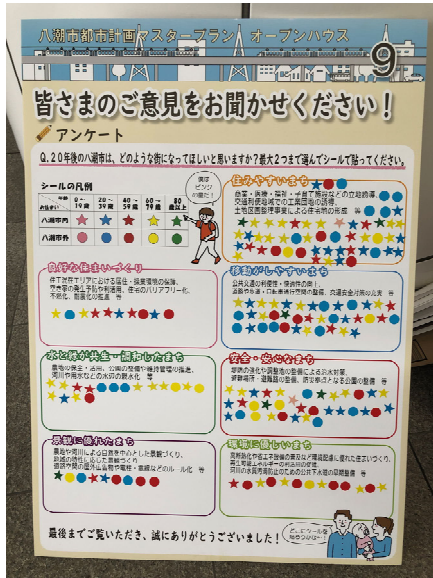
●家の隣に新しい倉庫ができて景観が悪くなった。
●市外に住んでいるが、景観に力を入れた方が良いと感じる。
●中川沿岸に住んでいるが、中川から見る朝日と農地、河川による自然景観が素晴らしい。

〈その他 計7件〉

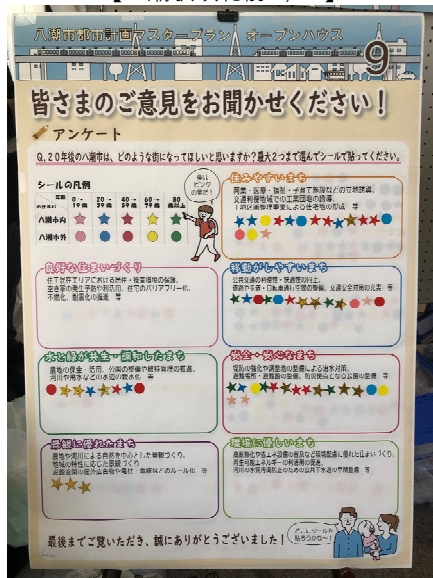
●人口が10万人になってほしい。
●観光地になると多くの人があるため、このままで良い。
●次代へ続くという言葉はその通りだ。(将来都市像)
●駅前の出張所で子育て関連の書類の提出もできるようになれば、わざわざ時間をかけて市役所までくる必要がなくなる。都内で働いている人は提出のために仕事を休まなければいけない。
●このような取組みは良い。継続して情報発信してほしい。(オープンハウス)
●文化センターや美術館等がない。

【参考2】アンケート結果の写真

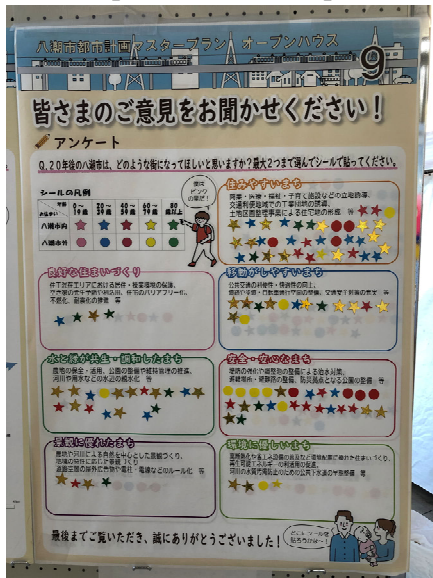
【八潮市役所（1階ロビー）1/11～14】



【八潮駅改札前 1/18】



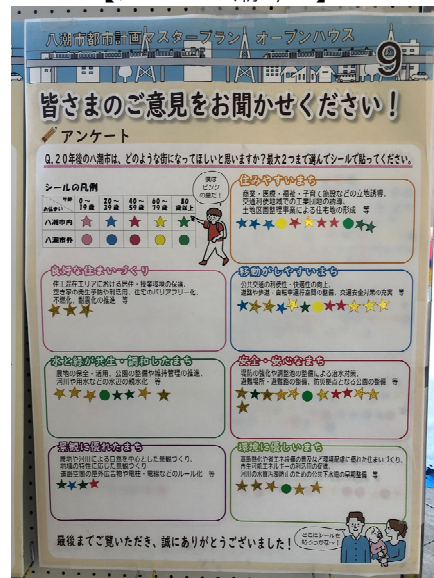
【フレスポ八潮 1/21】



【八潮駅改札前 1/15】



【フレスポ八潮 1/20】



【フレスポ八潮 1/22】



【参考3】オープンハウスパネル

八潮市都市計画マスタープラン オープンハウス 1

八潮市の歩み

八潮市のこれまでの取り組みや、今後の取り組みを紹介します！

沿革

年次	内容
昭和40年(1965)	草加都市計画区域編入
昭和43年(1968)	草加・八潮工業団地造成
昭和46年(1971)	庁舎完成
	八潮団地・八潮伊草団地造成
昭和47年(1972)	八潮市制施行
昭和60年(1985)	都市高速道路三郷線(首都高速6号三郷線)開通
平成4年(1992)	高速外環状道路開通
平成9年(1997)	中川やしおフラワーパーク開園
平成16年(2004)	東埼玉道路(国道4号)開通
平成17年(2005)	つくばエクスプレス開通
	八潮駅開業(北口供用開始)
平成21年(2009)	八潮駅南口供用開始
平成24年(2012)	まちづくり条例施行
平成27年(2015)	やしお駅前公園開園
	中川やしお水辺の楽校開園
平成31年(2019)	中川やしおスポーツパーク開園
令和2年(2020)	葛西用水親水化護岸整備完成
今後の取り組み	八潮市役所新庁舎の整備(令和6年) 北部拠点まちづくり推進地区の整備

主催者 八潮市都市デザイン部 都市計画課 TEL 048-996-2111(代)

八潮市都市計画マスタープラン オープンハウス 2

八潮市の都市づくり

都市計画マスタープランとは

■概要

都市計画マスタープランとは、概ね20年後のまちのあるべき姿を描き、その実現に向けて、今後取り組むべき、まちづくりの方向性を示す計画です。

交通利便性が確保された居住環境の創出
 つるかいを感じられる緑地空間の創出
 にぎわいのある駅周辺のまちづくり

■見直しの必要性

現在の都市計画マスタープランの策定から10年以上経過しており、本市を取り巻く状況が大きく変化しています。また、新たなニーズに対応した都市づくりが求められており、本市のさらなるステップアップを図ることから、令和25年を目標年次とし、現行計画の見直しを行っております。

2009年(H21) 八潮市都市計画マスタープラン 策定
 現行計画策定から10年以上が経過
 2023年(R5) 八潮市都市計画マスタープラン 改定予定

■オープンハウスとは

今回のオープンハウスは、本市の都市づくりに関するパネル展示を通して、都市計画マスタープランの周知を図るとともに、地域の皆さまのご意見を聴くために開催いたします。皆さまからいただいた貴重なご意見を都市計画マスタープランの見直しに反映していきます。

八潮市都市計画マスタープラン オープンハウス 3

今の八潮を知ろう!

人口・世帯

■人口動向

実績値(国勢調査より) / 推計値(八潮市人口ビジョンより)

八潮市の人口の推移と将来見直し

■人口分布

八潮駅が開業して、人口が増加しているけど、少子高齢化も進行しているわ。数年後には、人口減少してしまっかもしれないわ。

特に人口が集中している地域

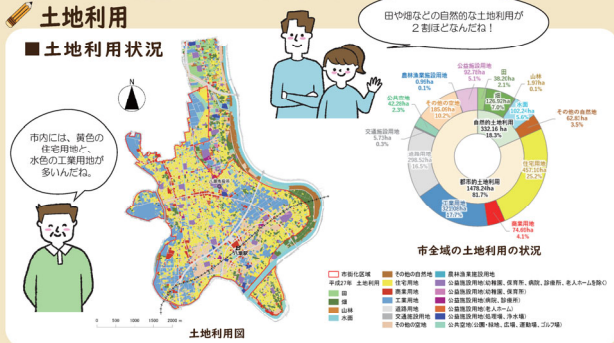
■世帯動向

八潮市の高齢者世帯と子育て世帯

今の八潮を知ろう！

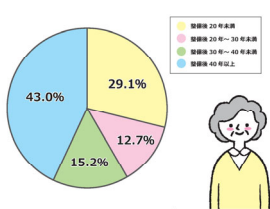
土地利用

■土地利用状況

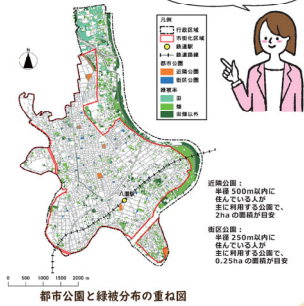


公園・緑地

■公園の整備年数



■公園と緑被率



今の八潮を知ろう！

主要道路網・公共交通網

■高速道路



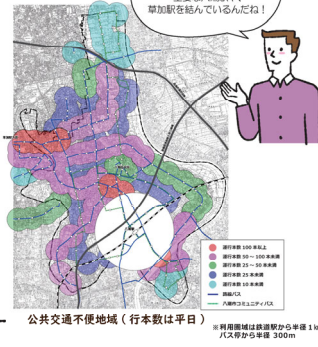
■国道・県道



■鉄道



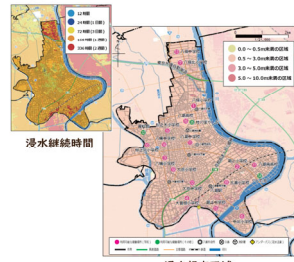
■バス



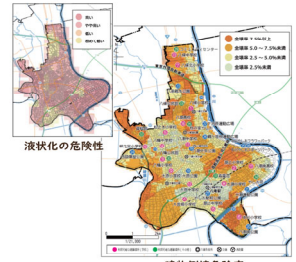
今の八潮を知ろう！

都市災害

■洪水（利根川が氾濫した場合）



■地震（東京湾北部地震が発生した場合）



主要課題

本市における今後の都市づくりの主要課題を5つにまとめました。

コンパクトな都市構造

安全・安心な都市

環境負荷の少ない都市

効率的に管理された都市ストック

賑わいと活力にあふれる都市

課題が明確化されていて、今後の目標が立てやすいわね。

未来の八潮を創造していこう！

将来都市像

将来の望ましいまちづくりに向けた目標（将来都市像）を定めます。

次代へつづく、暮らしやすさが実感できる都市 やしお

市民にとっては暮らしやすさが実感でき、市外の人々にとっては訪れたい・住みたいくなるよう都市づくりを進めます。これにより、定住促進・交流人口の増加・世代間更新を促すことで、将来にわたって持続可能な都市を目指します。

都市づくりの基本方針

都市づくりの基本方針とは、目標とする都市像を実現していくためのものです。

1. 地域特性に応じた計画的な土地利用
2. 誰もが安全で快適に移動できる交通ネットワークの形成
3. 住みたい・住み続けたい良好な居住環境の形成
4. 安全・安心に暮らせる都市づくり
5. 都市と自然環境が共生・調和したにぎわいや交流ある都市づくり
6. 市民が誇りに思える街並みの形成
7. 人と環境にやさしい持続可能な都市づくり

目標に向けて
何ができるか考えよう！



方針がみついたら
将来をイメージ
しやすくてイイね！



未来の八潮を創造していこう！

将来都市構造

将来都市構造とは、これまでのまちづくりの成り立ちや将来の人口見直し等を踏まえて、将来の都市の骨格を示すものです。

■核

市全体の都市機能が集積し、都市活動の中心となる地区や地域の中心となる地区のこと
(凡例)
● 都市核
● 地域核

■軸

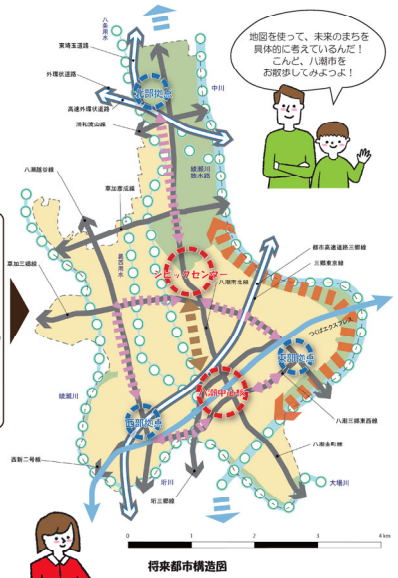
核をつなぎ、核ごとの機能をそれぞれ補完するものこと
(凡例)

- 都市軸
- 地域交流軸
- 広域連携軸 (道路)
- 広域連携軸 (つくばエクスプレス)
- 広域連携軸 (地下鉄8号線)
- 都市間連携軸
- 水の軸
- にぎわい交流軸

■ゾーン

同じ特性や役割を担う連続した土地利用のこと
(凡例)

- 市街地ゾーン
- 環境調整ゾーン



将来都市構造図

ここは、実際にどんな感じなんだろう？
マップで調べてみよう！

皆さまのご意見をお聞かせください！

アンケート

Q. 20年後の八潮市は、どのような街になってほしいと思いますか？最大2つまで選んでシールを貼ってください。

シールの凡例

年齢	0～19歳	20～39歳	40～59歳	60～79歳	80歳以上
性別	★	★	★	★	★
八潮市内	★	★	★	★	★
八潮市外	●	●	●	●	●



住みやすいまち
商業・医療・福祉・子育て施設などの立地誘導、交通利便地域での工業団地の誘導、土地区画整理事業による住宅地の形成 等

良好な住みづくり
住工遊在エリアにおける居住・就業環境の保護、空き家の発生予防や利活用、住宅のバリアフリー化、不燃化、耐震化の推進 等

移動がしやすいまち
公共交通の利便性・快適性の向上、道路や歩道・自転車通行空間の整備、交通安全対策の充実 等

水と緑が共生・調和したまち
農地の保全・活用、公園の整備や維持管理の推進、河川や用水などの水辺の親水化 等

安全・安心なまち
堤防の強化や調整池の整備による治水対策、避難場所・避難路の整備、防災拠点となる公園の整備 等

景観に優れたまち
農地や河川による自然を中心とした景観づくり、地域の特性に応じた景観づくり、道路空間の屋外広告物や電柱などのルール化 等

環境に優しいまち
高断熱化や省エネ設備の普及など環境配慮に優れた住みづくり、再生可能エネルギーの利活用の促進、河川の水質汚染防止のための公共下水道の早期整備 等

最後までご覧いただき、誠にありがとうございました！

